

地名の歴史を後世に残す「字名区域図」作成事業

申請内容

町内に約500に及ぶ地名の最小単位である「小字」の掘り起こしを行う。

小字は地域の歴史を探る手がかりとなりうるものであるが、現在の地図上に記載した「字界図」が存在しないため、そこに暮らす人であっても小字の存在を知らない人も多いのが現状である。

そのため、地域への愛着を持ち、町の宝である「小字」の存在を再認識することができるよう地域住民が自らの手で古くから残る地名を調べ「字界図」を作成する。

実施内容

【字名区域調査員の募集】

各区長へ字名区域調査員の募集について協力を依頼したが、最終的に応募が無かった。

そのため、区内住民へ直接調査員の協力を依頼し、2名が調査員として協力していただけることとなった。

【字名区域基礎調査の実施】

住宅地図に色分けで区域がわかるように記入を実施。

字名表内地番と住宅地図地番の引き当て作業は、なかなか手間のかかる作業であったが、一人で出来るところと二人一組の方が断然早いところが存在した。

1月中旬時点で、当初予定していた3地区（7、8、9区）の基礎調査が完了したことから、残りの区まで調査活動範囲の拡大を決定。

2月末までに、1区から10区までの字名区域基礎調査作業を完了した。